



岐阜おおがきビエンナーレ2015

特別映画上映

仙頭武則 監督作品

NOTHING PARTS 71

出演：津波信一 山城智二 山田力也 中尾彬 他
配給会社 / FECオフィス

12月20日(日) 17:00～ 入場無料

-上映後トークセッション

仙頭武則 (映画監督・映画プロデューサー・名古屋学芸大学教授)
前田真二郎 (映像作家・情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授)

東海地区初上映

最新東京公開バージョン

カンヌ国際映画祭4作6賞受賞をはじめ、
国際映画祭で数々の賞を受賞してきたプロデューサー・仙頭武則が
オキナワのタブーに切り込んだ初監督・問題作!!

『萌の朱雀』(97)や『EUREKA』(00)など、カンヌ4作受賞をはじめ、手掛けた作品が国際映画祭12カ国で100賞以上を受賞。日本を代表する国際的プロデューサー仙頭武則が沖縄に移り住み見つめてきたその姿。誰も映像化しようとしなかったその「沖縄の日常」を自ら初監督作として映画化。沖縄でのプレミア上映では観客から「リアルすぎる」「よくぞここまで描いてくれた」「なんでこんなこと描くのか」と猛烈な賛否を巻き起こした問題作。

本土の人は知らない、沖縄の人はみんな知っている
 誰も語りたがらなかったこと<タブー>!
 軍用地/遺骨収集/琉球/ユタ/米軍基地/ウチナー
 ナイチャー/独立論/自己決定権/1972年本土復帰
 様々なキーワード=NOTHING PARTSが交錯する。

STORY [設定]

騒動に巻き込まれ米兵を死なせてしまった智一は、過失致死の罪で服役後、精神的な後遺症に悩まされながら<遺骨収集>の仕事に就いていた。ある日、智一は沖縄で<軍用地>売買やホステス斡旋などを生業とする信二の車に轢かれてしまう。互いが71年生まれという事で意気投合し、二人は智一の仕事場である遺骨の発掘現場へと向かうのだが…やがて沖縄の迷走を自ら体験してしまうことになる。二人が最後にたどり着くその場所は…。





|監督プロフィール| 仙頭武則 SENTO Takenori

プロデューサーとしてカンヌ国際映画祭『萌の朱雀』(97)『M/OTHER』(99)『EUREKA(ユライカ)』(00)、『UNLOVED』(01)の4作受賞、ベルリン国際映画祭『独立少年合唱団』(00)など各国の国際映画祭等で12カ国100賞以上を受賞。カンヌ国際映画祭では全部門、延べ9作品の招待実績を持つ唯一の日本人。他に『リングラゼン』(98)『美しい夏キリシマ』(02)(キネマ旬報ベストワン)東海地区では『ダムドファイル』(03)のゼネラルプロデューサーとしても有名。プロデュース作品は50作以上に及ぶ。現在、名古屋学芸大学教授。



「岐阜おおがきビエンナーレ2015
 Cracks of Daily Life 日々の裂け目」

日常の中に潜むさまざまな亀裂に焦点をあて、オブジェやメディアアートなどの展示、映画上映を行います。ソフトビージャパン・センタービルのソピアホールが、様々なイベントが行われる「劇場型展示空間」になります。

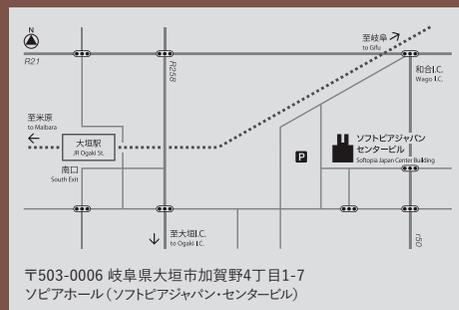
会期:12月19日(土)~23日(水・祝)11時~19時
 会場:ソピアホール(ソフトビージャパン・センタービル)

主催:情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 岐阜県 大垣市
 後援:岐阜県教育委員会 大垣市教育委員会
 協賛:公益財団法人十六地域振興財団 OKB大垣共立銀行
 協力:たるまジャパン合同会社 サンメッセ株式会社

岐阜おおがきビエンナーレ2015では、12月20日に特別企画として、
仙頭武則監督作品『NOTHING PARTS 71』を上映します。
映画館ではない場所での上映は初の試みとなります。
『最新東京公開バージョン東海地区初上映』

会場:ソピアホール(ソフトビージャパン・センタービル)
 日時:12月20日(日)17:00~19:30 入場無料

- 特別映画上映『NOTHING PARTS 71』
 - トークセッション
 仙頭武則 (映画監督・映画プロデューサー・名古屋学芸大学教授)
 前田真二郎 (映像作家・情報科学芸術大学院大学[IAMAS]教授)



(お問い合わせ)情報科学芸術大学院大学[IAMAS] TEL: 0584-75-6600 / event@ml.iamas.ac.jp